# ボウイ

***生薬の性状の項を次のように改める.***

**生薬の性状**　本品は円形又は楕円形の切片で，厚さ 0.2～0.4cm，径 1～4.5cm である．両切面の皮部は淡褐色～暗褐色を呈し，木部は灰褐色の道管部と暗褐色の放射組織とが交互に放射状に配列する．側面は暗灰色で，縦みぞといぼ状突起がある．

本品はほとんどにおいがなく，味は苦い．

本品の横切面を鏡検〈*5.01*〉するとき，一次皮部及び内しょうには著しく細胞壁の厚い石細胞が認められ，道管部では大小の道管がほぼ階段状に配列する．放射組織の細胞はおおむね木化せず，ところどころに著しく細胞壁の厚い大きな石細胞が散在する．一次皮部にはシュウ酸カルシウムの針晶を含み，放射組織中にはでんぷん粒及びシュウ酸カルシウムの小針晶を含む．でんぷん粒は主に単粒で，径は 3～20μm である．